

# スポーツ行事における感染予防のガイドラインについて

2020年6月25日

新日本スポーツ連盟全国連盟

5月25日、緊急事態宣言が全国的に解除となり、イベント等の開催制限、施設の使用制限の要請等について段階的に緩和されます。今後、スポーツ行事の開催には、感染予防対策を最大限に図るため、以下の点に留意して実施するようお願いします。

\*基本的に、日本スポーツ協会の「スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(5月29日)に準ずることとします。

## ▼スポーツ関係の新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインについて

<https://www.japan-sports.or.jp/news/tabid92.html?itemid=4173>

(日本スポーツ協会 5月29日更新)

\*今後の感染状況や科学的知見の充実等に応じて、内容の見直しを図られる可能性がありますのでご了承ください。

\*各都道府県によって「緊急事態宣言解除後のロードマップ」は違いがありますので、各自自治体施設管理者との事前協議を行い、施設管理者の指示を聞きことが大切です。その上で、以下の各項目に沿って、開催方法を決め、参加者とも協力して行事を行いましょう。

## 1. 大会開催の可否の判断

- ・開催地の都道府県の方針に従うことが大前提。
- ・判断に迷う場合は、自治体のスポーツ主管課や衛生部局等へ相談する。
- ・全国的かつ大規模な行事は、中止又は延期するよう慎重な対応をとる。

## 2. 参加募集時の対応

- ・募集人数の目安は、屋内＝収容率50%以内(上限1000人)、屋外＝できれば2mの十分な間隔がとれる範囲内(上限1000人)。(7月10日まで)。
- ・感染拡大防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にして、協力を求める。

### [参加者が遵守すべき事項]

- ①体調不良の場合、近くに感染が疑われる方がいる場合、過去14日以内に海外渡航又は海外在住者との濃厚接触がある場合は参加しないこと。
- ② マスクを持参すること。
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ④他の参加者、主催者スタッフ等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること。

- ⑤ イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ⑥ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ⑦ イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルスを発症した場合は、速やかに報告すること。

### 3. 参加受付時の対応

- ・受付に、手指消毒剤を設置する。
- ・体調不良の人は入場しないよう呼びかける。
- ・人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽する
- ・参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行う。
- ・できるだけ受付場所での書面の記入や現金の授受等を避ける
- ・参加者から「氏名、年齢、住所、連絡先、体温、体調」など記載した書面を提出してもらう（別紙の書面見本を参照）。
- ・当日の体温を計っていない参加者は、体温を計る。

### 4. 主催者が準備すべき事項

- ・スタッフのマスクの着用。
- ・手洗い場に石鹸（ポンプ型）、ペーパータオル（使い捨て）を準備する。
- ・更衣室、休憩・待機スペースにゆとりをもたせる。一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じる。
- ・換気扇、換気設備を適切に運転し、定期的にドアや窓を開けるなど十分な換気を行う。
- ・複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）をこまめに消毒する。
- ・「互いの距離をあける」「30秒以上の手洗い」「マスク着用」「握手の禁止」などを励行する掲示を貼る。
- ・「参加者が遵守すべき事項」を守ってもらうよう呼びかける。

### 5. 参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

- ・運動・スポーツ中に、唾や痰をはくこと禁止する。
- ・タオルの共用はしない。
- ・飲食は、指定場所で距離を取り、会話は控えめにする。
- ・飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てない。

### 6. 各種目における留意点

各競技団体が発表しているガイドラインがあれば、それに準じた対応を行う。

▼水泳 スイミングクラブにおける新型コロナウイルス感染拡大予防のためのガイドライン

[http://www.sc-net.or.jp/pdf/COVID19\\_Guidelines.pdf](http://www.sc-net.or.jp/pdf/COVID19_Guidelines.pdf)

今年度における学校の水泳授業の取扱いについて

[https://www.mext.go.jp/sports/content/20200522-spt\\_sseisaku01-000007434-1.pdf](https://www.mext.go.jp/sports/content/20200522-spt_sseisaku01-000007434-1.pdf)

〈主な留意点〉

- ・更衣室・観覧席・ロビーの消毒や3密対策に配慮する
- ・更衣室面積に応じた入室者数の制限（時間差による交代制・体操場などの代替スペースの使用）
- ・更衣室使用時間縮小のため、水着着用での来場。
- ・ドライヤー、脱水機の使用禁止。
- ・練習後のゴーグルは、アルコール消毒液など（バケツなどに確保）で洗う。
- ・練習後の目洗いの励行。目洗い場がない場合、水道水でも可。
- ・プール側溝の定期的な洗い流し。
- ・指導者の「プールマスクマン」の使用
- ・ビート板などの用具の使いまわしを避け、使用後に消毒を行う。

▼野球 全日本軟式野球連盟 JSBB 感染予防対策ガイドライン

<http://jsbb.or.jp/wp-content/uploads/e3dff38a7600b438d936e937cdda9603.pdf>

〈主な留意点〉

- ・ベンチ内に居る時には、全員がマスクを着用することを推奨する
- ・球審はマスク着用することが望ましい
- ・試合間のインターバルを通常より長く設定し、選手ならびに関係者の密集のリスクを回避する工夫をする。
- ・試合前の整列は、監督またはキャプテン同士の挨拶とし、両チームが整列することを省く。

▼サッカー JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン

[http://www.jfa.jp/about\\_jfa/guideline.pdf](http://www.jfa.jp/about_jfa/guideline.pdf)

〈主な留意点〉

- ・監督会議／代表者会議は原則として事前にオンラインで開催する。
- ・試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
- ・円陣はしない
- ・倒れた選手に手を貸さない
- ・得点時にハイタッチ、抱擁を行わない
- ・水・氷を溜めたクーラーボックスを共有しない。
- ・ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
- ・ベンチではマスクを着用し、会話を控える

▼テニス 新型コロナウイルス感染症対策 ガイドライン について

[https://www.jtia-tennis.com/covid19\\_tennis\\_guidelin\\_ver2.pdf](https://www.jtia-tennis.com/covid19_tennis_guidelin_ver2.pdf)

## ▼卓球 日本卓球協会における新型コロナウイルス感染症対策

[http://www.jtta.or.jp/Portals/0/images/association/guidelines/20200530\\_NTCguideline.pdf](http://www.jtta.or.jp/Portals/0/images/association/guidelines/20200530_NTCguideline.pdf)

〈主な留意点〉

- ・他のプレイヤーや参加者と握手をしないで、うなずきや手を振ることで代替する。
- ・(現時点の) 初期段階では、ダブルスをプレーしないことを推奨。
- ・以前別の人が使用していたら卓球台を使用する場合は、10分間待ってから使用する。
- ・卓球台は毎回使用前に清掃、消毒する。
- ・チェンジエンドをしたり、卓球台の上で手を拭いたりしない。
- ・卓球台の間隔を十分に空ける。(4m以上を推奨)
- ・換気は、2時間に1回、もしくはグループが入れ替わる前に行う。
- ・卓球台の上で手を拭いたりしない。

## ▼バレーボール競技に関わる大会等再開時のガイドライン

<https://www.jva.or.jp/topics/uploads/2684/79b7bbac51a149d1679022abc7929d49.pdf>

〈主な留意点〉

- ・体育館内でのバレーボール大会については、当面の間、試合用コート1日1面当たり2チームを超えない範囲での参加に限る
- ・試合前などの円陣や、ベンチでの集合時においてもできるだけ密集・接触を避ける
- ・競技中のハイタッチは腕のタッチにとどめる
- ・ネット際などで、相手に向いた状態での発声は控える
- ・線審のフラッグ、得点板、モップ等、試合で使用する備品類のこまめな消毒など衛生対応に留意する
- ・審判員の笛(私物)についても、唾液の付いた状態での放置を避けるなど、不慮の接触を避けるため留意を求める(※電子ホイッスル等の活用)

## ▼登山 政府の緊急事態宣言全面解除を受けて 山岳スポーツ愛好者の皆様へ

<http://www.jwaf.jp/upload/info/478.pdf>

〈主な留意点〉

- ・近距離(100km圏内程度)でできるだけ都道府県を跨がない日帰り登山から始める。
- ・登山は、少人数(パーティーは、当面5名以内で)で行う。
- ・十分な登山ルートの下調べと地図、コンパスの持参、登山届は必ず提出(家族にも)する。
- ・登山中でもマスクを着用し、熱中症及び脱水には十分留意し、こまめに水分摂取を心がける。